

Global and Innovation Gateway for All

GIGA 通信

-児童生徒 1 人 1 台端末の日常的な活用に向けて-



発行元

佐野市教育センター

佐野市上羽田町 1134 番地 1

電話 20-3108

20-3048(相談専用)

1 人 1 台端末の本格的な運用が始まり、早いもので 2 年目を迎えます。今年度も佐野市では「どの学校においても端末の活用が日常的に図られること」を目標に、教育センターを中心として学校における 1 人 1 台端末の活用支援を行っていく予定です。その一環として、昨年度に引き続き各校で行われている端末活用の様子を「GIGA 通信」にてお伝えしていきたいと考えております。

今回は、天明小学校と城東中学校の授業での活用の様子を紹介いたします。

『ねらいを達成するための効果的なツールとしての端末の活用』

（天明小学校での実践）

5 年生が算数「変わり方を調べよう」の学習で底面積が固定された直方体の高さと同体積の関係を調べました。1 人 1 台端末を効果的に活用することで、児童が主体的・意欲的に学習に取り組み、本時のねらいを達成していました。

◇高さが 1 cm ずつ増えたときの体積を表に整理し、変化のきまりを見つける場面での活用

表に整理する際に、スクラッチで作成した計算プログラム（高さを入力すると体積が計算される）を児童が必要に応じて使っていました。

この計算プログラムは事前に児童が作成したもので、自力で計算したい児童は使わなくてもよいし、計算が合っているか確かめるために使っても

よいということになっています。児童が ICT 使用の有無を判断し活用するという個別最適な学びが見られました。



◇考えを発表し合い検討する場面での活用

表から気付いた変化のきまりを個人でプリントにまとめ、それをロイロノートのカメラ機能で撮影して提出し、電子黒板で共有しました。考えを

発表し合う場面では、発表している友達の意見が書かれた画面を各端末で共有し、それを見ながら聞くことで、理解をより深めることができました。



『1 人 1 台端末を活用した協同的な学び』

（城東中学校での実践）

3 年生が学級活動で、県立高校を調べてまとめ、それを発表し合いました。1 人 1 台端末を活用したグループ活動を通して、生徒が互いに助言し協力し合いながら、協働的に学習に取り組んでいました。

◇グループで県立高校について調べ学習を進める場面での活用

Google スライドの共同編集機能を活用し、グループで協力してプレゼンテーションの資料を作成しました。自分のシートを作りながら、友達で作っているシートも画面上で確認できるため、「表示する情報が少し多すぎるかな。」「見る人の興味を引くために写真を入れてみたら。」などと、生徒同士が相談したり助言したりして学び合う姿が多く見られました。



◇作成した資料の授業後の活用

本時で作成した資料は、Google ドライブに保存することで、必要なときに何度でも読み直すことができます。また、他のクラスや他校と共有することもできます。さらに、作成した資料を高校

に送り、高校生が新たな情報を加え中学校に送り返すなど、高校生との交流にも活用できます。

